

第六日目

師 範：遣唐使が学んできた先進国唐の制度の中で天皇にとって一番大切なものは、皇帝に権力を集中し、全国を一つのルールで統制するしくみでした。



これは刑罰を決めた「律」と、政治のしくみを定めた「令」で、あわせて律令と言いました。

大きな整然とした都をつくり、律令の勉強を命じていた天武天皇は亡くなっていたが、その国づくりの努力は続き、ついに701年に大宝律令が定められました。

この大宝律令は、日本の古代社会約400年間のみならず、武家社会にも影響を残し続けた律令制度の始まりとなりました。

701年 大宝律令を定める。

この年は大切ですから覚えておきましょう。

奈良時代の前だということも確認しておきましょう。

コン太：先生



「なれ一番大切な律令に」

というのは、いかがなものでしょうか。

「な」は7、「れ」は0、「一番のいち」は1です。これで701年となります。

ペン太：うまい！



師 範：ふんいきがよく出ている。

ペン太：大宝という言葉は入れにくいかな。

師 範：「一番大切な」という言葉で「大宝」の大切な宝という意味が出ていると考えよう。